

みずほCustomer Desk Report 2023/08/28 号 (As of 2023/08/25)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	146.23
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.06	1.0798	157.69	1.2592	0.6413
SYD-NY High	146.64	1.0841	158.22	1.2655	0.6442
SYD-NY Low	145.73	1.0766	157.25	1.2548	0.6380
NY 5:00 PM	146.47	1.0794	158.11	1.2577	0.6403
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,346.90	247.48	日本2年債	0.0045%	▲0.0055%
NASDAQ	13,590.65	126.67	日本10年債	0.6500%	0.0100%
S&P	4,405.71	29.40	米国2年債	5.0768%	0.0550%
日経平均	31,624.28	▲ 662.93	米国5年債	4.4347%	0.0211%
TOPIX	2,266.40	▲ 20.19	米国10年債	4.2305%	▲0.0087%
シゴ日経先物	31,860.00	160.00	独10年債	2.5560%	0.0355%
ロンドンFT	7,338.58	4.95	英10年債	4.4370%	0.0135%
DAX	15,631.82	10.33	豪10年債	4.1780%	0.0500%
ハンセン指数	17,956.38	▲ 255.79	USDJPY 1M Vol	9.36%	▲0.30%
上海総合	3,064.07	▲ 18.17	USDJPY 3M Vol	9.28%	▲0.23%
NY金	1,939.90	▲ 7.20	USDJPY 6M Vol	9.29%	▲0.07%
WTI	79.83	0.78	USDJPY 1M 25RR	▲0.77%	Yen Call Over
CRB指数	278.20	2.37	EURJPY 3M Vol	9.51%	▲0.20%
ドルインデックス	104.08	0.09	EURJPY 6M Vol	9.63%	▲0.13%

東京	東京時間146.06レベルでオープン。五・十日による実需の買いや米金利の底堅さを横目に146円台前半を確りと推移したが、日本株の大幅下落や今晚のパウエル議長の発言を控えた中では、上値追いとはならず、146円台前半付近での小動きとなり、146.06レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.06レベルでオープン。特段の材料がない中、パウエル議長の発言を午後に控え、方向感なく推移。結局、146.00レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0790レベルでオープン。独8月IFO業況指数が予想を下回り、また前月比でも下落となったことで1.0766まで売られる。その後、午後に向けて買い戻され、結局1.0803レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は145円台半ばでスタート。米長期金利が上昇する動きにつられ、146.26まで上昇する。その後はパウエルFRB 議長の講演待ちムードが広がり、146円台前半を中心とした推移が続き、146.00レベルでNYオープン。午前中に行われた注目のパウエルFRB議長の講演では、「追加利上げは適切な場合に実施する用意がある」との発言を受け、利上げ期待の買いから、146.30まで上伸する。しかし、その後に「追加利上げの是非は慎重に進めていく」との見方も示されたことから、一転ドル売りが優勢となり、145.73まで急落する等神経質な動きが続く。講演後は、米長期金利の急上昇につれて、ドル買いも強まり、146.64を付け、年初来高値を更新。その後は伸び悩み、146.30付近まで反落。午後は週末を控え、値幅が限定的の中、146.30付近を挟んだ値動きが続き、146.47レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。じり安での推移が続き、1.0766まで下落する。その後、独長期金利が上昇する展開が下値を支え、1.08台を回復し、1.0803レベルでNYオープン。朝方は先述のパウエル議長の発言を受け、1.0841まで戻す場面も見られたが、その後米金利が再度上昇する動きが上値を抑え、再び1.0766まで値を下げる。その後は下げ渋り、1.08台丁度付近まで小幅反発する。午後は1.08台付近での値動きが続き、その後ECBラガルド総裁が「物価に必要な限りの高さに金利を設定する」との見方を示すも動意薄。1.0794レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・鈴木

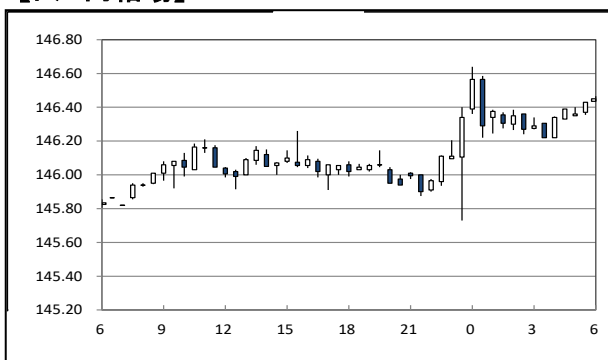
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月25日	08:30	日 東京(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	8月	2.9%/2.8%/4.0%
	17:00	独 IFO(企業景況感/現況/期待)指数	8月	85.7/89.0/82.6
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月	69.5
	23:05	米 パウエルFRB議長 講演		71.2
				「必要に応じて追加利上げの用意」

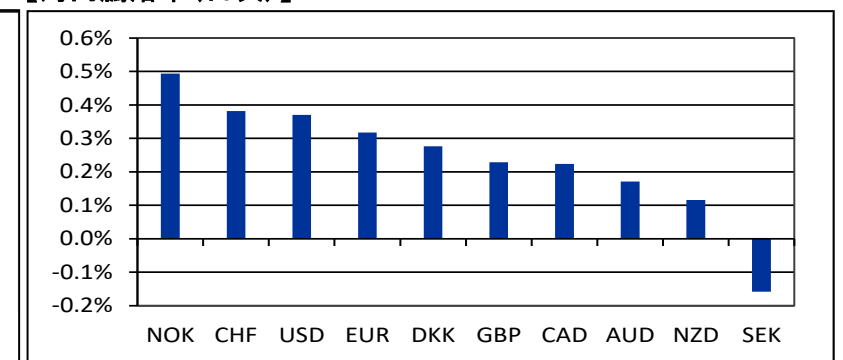
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月28日	14:00	日 景気一致指数・確報	6月	-
				115.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-147.50	1.0700-1.0900	157.00-159.00

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は146円台後半まで上昇。東京時間146.06でオープンし、パウエルFRB 議長の講演待ちムードが広がり、146円台前半でもみ合い推移。NY時間に入り、行われた注目のパウエルFRB議長の講演では、「追加利上げは適切な場合に実施する用意がある」との発言を受け、利上げ期待の買いから、146.30まで上昇。しかし、その後に「追加利上げの是非は慎重に進めていく」との見方も示されたことから、一転ドル売りが優勢となり、145.73まで急落する等神経質な動きが続く。講演後は、米長期金利の急上昇につれて、ドル買いも強まり、146.64を付け、年初来高値を更新。その後は伸び悩み、146.30付近まで反落し、結局146.47でクローズした。
本日のドル円は堅調推移を予想する。先週末開催されたジャクソンホールでは、米FRBは年内追加利上げが示唆され、利上げに関しては当分なし、日銀については金融緩和の維持が示唆され、改めて日米の金融政策のスタンスの違いが確認された。日本当局による円安けん制発言を警戒しつつ、本日もドル円は堅調推移となろう。